

統合再編準備委員会だより



第5回統合再編準備委員会が開催されました。



第5回の統合再編準備委員会が10月23日に吉見町役場大会議室において開催されました。会議では、統合小学校の校名候補の最終選定が行われ、協議の結果、5つの校名候補を選定しました。

また、統合小学校の新校舎の配置計画（土地利用計画）の条件等を検討するため、2グループに分かれてワークショップを行いました。



統合小学校の校名候補を選定しました。

前回の準備委員会で最終選定候補とした5つの校名候補について、「①読み書きが容易な校名であるか」「②吉見町にひとつとなる小学校としてふさわしい校名であるか」「③町民に親しみやすく、広く受け入れられやすい校名であるか」の3つの視点と、それぞれの校名に込められた意味や思いを参考に協議を行った結果、5つすべての校名候補を教育委員会に報告することになりました。

準備委員会で選定した校名候補と選定理由は、以下のとおりとなります。

校名候補名（五十音順）	校名候補の選定理由
けやき小学校	けやきの木のイメージから、吉見町の中心で大きく成長してほしいという思いが込められている。また、町の木であり、保育所と同じ名前であるため、覚えやすく、親しみやすい。
よしみ小学校	ひらがなで柔らかく表現して、未永く愛される町内ひとつの小学校になってほしいという思いが込められている。また、読み書きが容易でわかりやすく、覚えやすい。
吉見小学校	唯一の小学校となることから、故郷に誇りを持ち、町への親しみや愛着が持てる人になってほしいという思いが込められている。また、吉見中学校との統一感があり、シンプルでわかりやすい。
よしみ中央小学校	東西南北の6校の小学校が中央に集まり、仲良く学んでほしいという思いが込められている。また、よしみをひらがなとすることで、読み書きしやすく、誰もが受け入れられやすい。
吉見中央小学校	吉見の名を冠し、東西南北の6校の小学校の伝統を大切にしつつ、新たにひとつになってほしいとの思いが込められている。また、6校のまとまりや統合の意味合いを「中央」の文字で表現している。

※準備委員会で選定した校名候補は、教育委員会定例会や総合教育会議で協議・決定され、関連法令が町議会に上程される予定です。

新校舎の配置計画（土地利用計画）の条件等の検討について

配置計画の条件や目標を検討するため、一定の条件を設定してうえで、敷地の東側に配置した場合と西側に配置した場合、それぞれの「よいところ」「気になるところ」等について意見を出し合いました。出された意見を踏まえ、基本設計に向けた具体的な「条件や目標」を洗い出し、新校舎の配置計画を検討していきます。

■ 一定の条件 ※比較検討するための仮の条件

- ・現在の中学校のグラウンド運用状況を維持する。 ・小中が連携できる校舎配置とする。
- ・校舎は3階建てを基本とする。 ・駐車場はできる限り確保に努める。
- ・普通教室は、校舎南側・東側に配置する。
- ・体育館は、重層化（フロアが2階）を検討する。
- ・小学生用の遊び庭（遊具も含む）を配置する。 etc



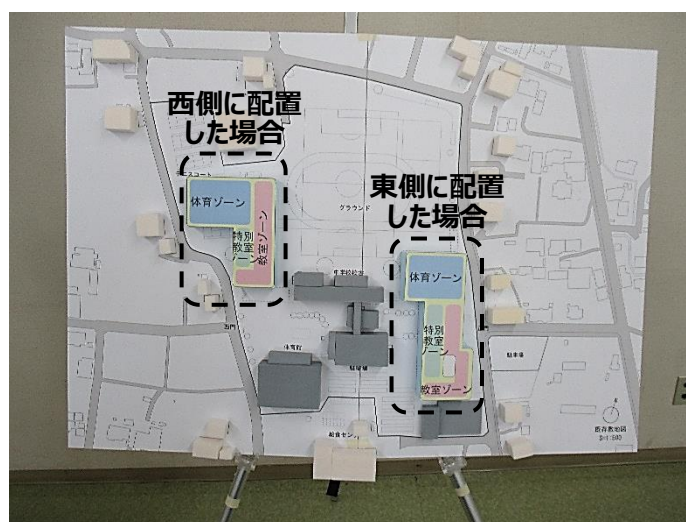
■ ワークショップでの4つの視点

学習・教育環境

- ・採光、通風の確保
- ・各ゾーンのつながり
- ・使いやすさ etc

既存施設との関係

- ・中学校との連携
- ・プールとの関係
- ・給食センター etc



屋外環境

- ・広さ、かたち
- ・日照、日影
- ・使いやすさ etc

アプローチ

- ・利便性
- ・わかりやすさ
- ・安全性 etc



お問い合わせ

吉見町教育委員会
教育総務課 統合再編担当
電話：0493-54-8938



町ホームページ
詳細はこちらをご覧ください